学校番号	3025

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新　精選　言語文化」（明治書院）						
副教材等	四訂版わかる・読める・解ける Key&Point 古文単語 330（いいずな書店）、古典常識も学べる新明説総合古典文法（尚文出版）、新明説総合古典文法基本練習ノート（尚文出版）、必携新明説漢文改定版（尚文出版）、リテラ古典１（文英堂）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年生では、有名な文学作品や古典に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身につけてください。
・さまざまな文章に触れることで、教材を通して自身のものの見方や考え方を広げるとともに、自分の考えを言葉にして表すための力を伸ばしてください。
・古文・漢文の本文は、必ず音読しましょう。
・予習として必ず本文をノートに写し、意味調べをしておきましょう。授業の後には内容を振り返って復習し、文法知識や古文単語は自分なりに整理し、少しずつ覚えていきましょう。
・提出物の期限は必ず守りましょう。また、定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
・古文単語や文法の小テストの勉強をし、基礎的な知識の定着をはかる。
【思考力、判断力、表現力等】
・的確に文章の内容や構成を理解するとともに、登場人物の心情を読み取ることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
・言語・文化に対する関心を深め、言葉を尊重して、自己に向き合う態度を養成する。
・読解力を養い、作品を通してものの見方、考え方を深め、人間性の形成に役立てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	・説話のおもしろさを味わう。 ・歴史的仮名遣いの読み方や文語のきまりを理解し、古文に親しむ。 ［教材］ 宇治拾遺物語「児のそら寝」	a：古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 b［ 読 ］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：進んで説話のおもしろさを味わい、古文に親しみ、内容や展開などについて話し合おうとする。	小テスト 定期テスト	定期テスト ワークシート	提出物 振り返り
	・説話のおもしろさを味わう。 ・歴史的仮名遣いの読み方や文語のきまりを理解し、古文に親しむ。 ［教材］ 宇治拾遺物語「絵仏師良秀」	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや、古典特有の表現などについて理解している。 b［ 読 ］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：進んで説話のおもしろさを味わい、古文に親しみ、内容や展開などについて話し合おうとする。	小テスト 定期テスト	定期テスト ワークシート	提出物 振り返り
	・『徒然草』に表れた作者のものの見方、感じ方を捉える。 ・文語助動詞の種類と用法を理解する。 ［教材］ 徒然草「亀山殿の御池に」	a：文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b［ 読 ］：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：作者のものの見方、感じ方を捉え、作者の主張を読み取り、普段の生活と関連付けて認識を深めようとする。	小テスト 定期テスト	定期テスト ワークシート	提出物 振り返り
二学期	・漢文の世界に親しむ。 ・訓読のきまりや熟語の構造を理解する。 ［教材］ 訓読の世界	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［ 読 ］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：進んで漢文の世界に親しみ、訓読のきまりや熟語の構造を理解し、学習の見通しをもって、言語文化について自分の考えを持とうとする。	小テスト 定期テスト	定期テスト ワークシート	提出物 振り返り
	・昔の人の恋のあり方について理解し、歌物語に親しむ。 ・内容や構成、叙述を基に人物の心情を考える。 ・助動詞や副詞の呼応などについて理解する。 ［教材］ 伊勢物語「芥川」	a：古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景、古典特有の表現などについて理解している。 b［ 読 ］：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：進んで歌物語に親しみ、副詞の呼応などについて理解し、文章の構成上の効果について考えようとする。	小テスト 定期テスト	定期テスト ワークシート	提出物 振り返り
	・近代日本文学への入門的な短編を通して、内容や展開を的確に捉えることを学ぶ。 ・文章にまとめることを通して、舞台設定・構成・描写に対する理解を深める。	a：常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 b［ 読 ］：文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	小テスト 定期テスト	定期テスト ワークシート	提出物 振り返り

	［教材］ 羅生門（芥川龍之介）	c：進んで内容や展開を的確に捉え、作品の特色をつかもうとし、舞台設定・構成・描写に対する理解を深めようとする。			
	・日記文学の特徴や成立の背景を理解する。 ・女性に仮託した作者が日記でどのようなことを書こうとしたのか話し合う。	a：時間の経過による文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 b［ 読 ］：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：進んで日記文学の特徴や成立の背景を理解し、女性に仮託した作者が日記でどのようなことを書こうとしたのか話し合おうとする。	小テスト 定期テスト	定期テスト ワークシート	提出物 振り返り
	［教材］ 土佐日記「門出」				
三学期	・短い漢文を読み、文章の内容をその叙述に即して的確に読み取る。 ・故事成語の由来や意味と、現代の言葉とのつながりを理解する。	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b［ 読 ］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：進んで故事成語の由来や意味と現代の言葉とのつながりを理解し、普段の生活と関連付けて認識を深めようとする。	小テスト 定期テスト	定期テスト ワークシート	提出物 振り返り
	［教材］ 故事成語「蛇足」				
	・俳諧の修辞や古典を踏まえた表現など、作者の工夫を読み味わう。 ・人生と旅についての作者の心情を話し合う。	a：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 b［ 読 ］：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：進んで作者の考えを理解し、作者の工夫を読み味い、作者の旅への心情を話し合おうとする。	小テスト 定期テスト	定期テスト ワークシート	提出物 振り返り
	［教材］ 奥の細道				
	・古代から現代にまで続く、短歌の形式を理解し、その代表的作品を読み味わう。 ・短歌に特徴的な表現の技法を理解し、語感を磨く。 ・学んできた歌を参考にしながら、短歌を作る。	a：本歌取りや見立てなどの表現の技法とその効果について理解している。 b［ 書 ］：自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 c：進んで和歌や短歌の表現技法とその効果を理解し、感じたことや発見したことを短歌で表現しようとする。	小テスト 定期テスト	定期テスト ワークシート	提出物 振り返り
	［教材］ 短歌				

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ［　］について…括弧内には［　話／聞、書、読　］のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　5　）時間

・書くこと　…　（　5　）時間

・読むこと　…　（　６０　）時間